

アクセシビリティを考えた 図書館利用教育：司書課程における授業例

福田 博同

跡見学園女子大学文学部

2012年3月10日

第17回図書館利用教育実践セミナー in 京都

目次

1. 情報探索法・図書館活用法授業

- 授業内容
 - 目的
 - 方法
 - 情報加工術:エディタを使う
 - データベースのデータ変換法
 - 情報サービスツール作成法

2. アクセシビリティを考えたWebサイト

- 図書館はすべての人々のもの
- JIS X8341-3:2010
- アクセシビリティのチェック
- チェックツール
- チェックツール:文法チェック
- チェックツール:アクセシビリティチェック
- チェックツール:アクセシビリティチェック

3. 新技術とアクセシビリティ

4. 図書館利用教育ガイドライン:情報活用法指導

5. リンクリスト

情報探索法・図書館活用法授業

「図書館利用支援ガイドライン」の
「情報活用法指導」(目的)抜粋

司書課程(旧課程)の
「情報サービス」関連演習授業

- 検索ツール利用法 ————— ● 情報検索演習
- アクセスポイント利用法 ————— ● “
- サーチエイド(分類等)利用法 ————— ● 資料組織演習 & 情報検索演習
- 情報検索の原理 ————— ● 情報検索演習
- レファレンスサービス活用法 ————— ● レファレンスサービス演習 &
● 情報検索演習
- 情報探索戦略(strategy) ————— ● “
- 情報機器利用法 ————— ● 情報機器論 | 情報検索演習
- **情報発信** - - - - - ● **新課程** & (情報検索演習)
- 情報倫理 ————— ● (図書館サービス論 | 情報リテラシー)

授業内容：目的

目的：サーチャー養成 + 学術論文執筆のための情報探索
比重の置き方で大学や教員の特性が出る

1.サーチャー養成

富山短期大学 [吉田恵吉氏](#) | 鶴見大学 [江草由佳氏](#)

2.レポートを書くための情報探索法

京都大学全学共通科目「[情報探索入門](#)」

東北大学全学共通科目「[大学生のための情報検索術](#)」

3.全学共通科目に含まれていない大学例

跡見学園女子大学「[情報サービス概説](#) | 演習」([芸術系大学生の情報探索術](#))に加味

授業内容：方法

- 主題を知る
- 探し方の探し方を知る
- 図書館の利用法を知る
- 情報検索理論を知る
 - 歴史
 - 種類(DB等|全文と書誌)
 - 検索技法(検索式等)
- 情報社会を知る
 - 著作権法
 - セキュリティ
- 情報検索技法演習
 - パスファインダー作成
 - オンディスク検索
 - Web検索
 - 検索エンジン
 - 全文検索
 - 学術論文の書誌検索
 - 図書・雑誌の書誌検索
- 情報加工術
 - エディタを使う
 - データベースデータ変換法
 - 情報サービスツール作成法
 - 論文執筆技法

情報加工術：エディタを使う

アクセシビリティを考えたxhtml文書の見本で日記を書く

効能：

- Webページの仕組みを理解できる
- ハイパーリンクを理解しやすい
- その日の復習ができる
- ブログ感覚で興味を引く
- [実例 \(nikki.html\)](#)

データベースのデータ変換法

効能：

- Excelのデータベース機能を用いることでデータベースを理解しやすい (Microsoft Access等本格的DBソフトに比べて)
- データの効率化
- XMLによるWebページ変換を実見できる
- ハイパーリンクを理解しやすい
- 教材例
- データベース例(help.html)

情報サービスツール作成法

内容:

•情報探索教材作成

- 検索手順の取りまとめで主題パスファインダー作成
- 私大協パスファインダーバンクのテンプレート利用
- 「情報探索法」作成
 - 京都大学「情報探索入門」金子氏 | 東北大学学生のための情報探索基礎知識等参照 | 学生例

•レファレンスデータベース作成

- レファレンス協同データベースガイドラインpdf
- 質問回答・手順データベース

情報サービスツール作成法

内容:

●「図書館案内」教材作成

- 亜細亜大学情報機器論/仁上幸治氏
- 跡見学園女子大学「コミュニケーションと情報機器学生作品」

効能:

- 図、動画、音声、HTML文書を組み合わせた情報発信方法を学べる
- アクセシビリティを考えたHTML文書を学べる
- 共同作業で学生の自主性と協調を学べる

アクセシビリティを考えたWebサイト

- 図書館利用教育≒図書館利用支援にWebサイトの果たす役割は大きい
 - 利用案内 | 全文・書誌検索 | レファレンス | リクエスト | 情報資源の組織化と発信等
- 7040万人(12才以下+50才以上の人口)
全人口の55% 総務省人口統計局2010年10月より計算
- WebサイトをJIS X8341-3対応に

図書館はすべての人々のもの

厚生労働省
統計2010年

- 見えづらい人々
 - 聞こえづらい人々
 - 手を動かせない人々
 - ことばが分かりづらい人々
 - 図書館が遠い人々
-
- すべての人が「利用できる」ように⇨ アクセシビリティ
 - 図書館サイトもアクセシビリティ対応へ
 - 司書・司書教諭課程の授業もアクセシビリティ対応へ

JIS X8341-3:2010

情報アクセシビリティ国際標準化委員会(INSTAC)規格の概要説明

Webコンテンツ作成のポイント

- 高齢者・障害者が利用できること
 - できるだけ多くの機器で利用できること
 - 企画・制作プロセスでアクセシビリティを
-
- できない時は代替手段を用意

アクセシビリティのチェック

ポイント

- マウスを使わないで操作できる

総務省「障害者のホームページ利用方法の紹介ビデオ」(石川准氏分)

- キーボードを使わないで操作できる

総務省「障害者のホームページ利用方法の紹介ビデオ」(平野忠雄氏分)

- 音声が出て | 動画に字幕・手話

● 例：NHK みんなの手話 Weblio 手話辞典

アクセシビリティのチェック

ポイント

- 見やすい聴きやすい構成と画面
 - 1ページ10分程度以内で読み上げる
 - 紙本でなく、ハイパーリンクサイトの意識
 - 色の配合 [カラーユニバーサルデザインとは/CUD](#)
 - B型、D型
 - 色の明度対比 [aDesigner/IBM東京基礎研究所](#)

チェックツール

原理 | 規格

- W₃C ウェブコンテンツ・アクセシビリティ・ガイドライン(WCAG)2.0
- JIS X8341-3: 2010 (ウェブアクセシビリティ基盤委員会の解説)
- 総務省 みんなの公共サイト運用モデル
- 共生社会政策統括官「障害者施策」

チェックツール:文法チェック

HTML・XHTMLチェック

- W₃C [Markup Validation Service](#)
- [Another HTML-lint gateway / k16氏](#)
- CSS チェック: [W₃C CSS Validation Service](#)

HTML₅ チェック:[W₃C Markup Validation Service](#)

チェックツール：アクセシビリティチェック

- Webサイト
 - [HAREL/ NTT Data](#)
- アプリケーションソフト
 - [WebInspector/富士通](#)
 - [aDesigner / IBM](#)
 - [miChecker / 総務省](#)
- 実測チェック
 - [ALTAIR /日本障害者リハビリテーション協会](#)
 - [PCトーカー / 高知システム開発](#)
- 色覚チェッカー
 - [色盲の人にもわかるバリアフリープレゼンテーション法/ 岡部氏伊藤氏 \(Vischeck | ImagJ\)](#)
 - [ColorAccess / suginy 氏](#)
- リンクチェック
 - (Not foundは非アクセシブル)
 - [W3C Link Checker](#)

新技術とアクセシビリティ

- テキストがあれば点字ディスプレイで読める
 - FlashアニメーションやYouTubeに字幕を
 - Flashは元ファイル制作で字幕を入れる
 - YouTubeは、「字幕ファイル名.srt」を作りアップ。
 - Daisyとは字幕付き

新技術とアクセシビリティ

次のステップとして

- W₃Cの **ARIA** (Accessible Rich Internet Applications)

で実装

- AjaxやjQueryをキーボード操作できる仕組みを用意する
 - [Accessibility of Rich Internet Applications / webAIM](#)
 - [WAI-ARIA2009年版/日立製作所訳](#)
- IBM アクセシビリティ・センターの「**Ajax アクセシビリティの概要**」等の勧告に従う
- HTML5で開発するか

図書館利用教育ガイドライン：情報活用法指導

- 検索ツール利用法
- アクセスポイント利用法
- サーチエイド(分類等)利用法
- 情報検索の原理
- レファレンスサービス活用法
- 情報探索戦略 (strategy)
- 情報機器利用法
- 情報発信
- Webアクセシビリティ
- 情報倫理

これらを入れて再構成



サイト名	開設者
^A Accessibility of Rich Internet Applications	webaim.org
aDesigner	IBM東京基礎研究所
AJAX アクセシビリティの概要	IBM アクセシビリティ・センター
ALTAIR	日本障害者リハビリテーション協会 (JSRPD)
Another HTML-lint gateway	ki6氏
ARIA(Accessible Rich Internet Applications)	W3C
Coller Access	suginy氏
CSS Validation Service	W3C
Enjoi DAISY	daisyconsortium
HAREL	NTT Data
JISX8341-3:2010解説	ウェブアクセシビリティ基盤委員会
Link Checker	W3C
Markup Validation Service	W3C
Markup Validation Service(HTML5)	W3C
PCトーカー	高知システム開発
WebInspector	富士通
weblio 手話辞典	weblio
^あ アクセシブル・リッチ・インターネット・アプリケーション(WAI-ARIA)1.0	日立製作所
亜細亜大学図書館司書講習「情報機器論」	仁上幸治氏
色盲の人にもわかるバリアフリープレゼンテーション法	岡部正隆氏;伊藤啓氏
インターネット情報とデータベースの活用法:情報探索入門	金子周司氏

サイト名	開設者
^あ ウェブコンテンツ・アクセシビリティ・ガイドライン (WCAG) 2.0	
^か カラーユニバーサルデザインとは？	CUDO(カラーユニバーサルデザイ機構)
共生社会政策:障害者白書	内閣府共生社会政策統括官
芸術系大学生の情報探索術	福田博同
高齢者・障害者等設計指針—情報通信における機器, ソフトウェア及びサービス—規格の概要	情報技術標準化研究センター:情報アクセシビリティ国際標準化委員会:普及・適合性評価技術部会 (WG3)
^さ 障害者のホームページ利用方法の紹介ビデオ	公共分野におけるアクセシビリティの確保に関する研究会(総務省)
情報検索演習	江草由佳氏
情報サービス概説	福田博同
情報探索入門	京都大学附属図書館
^た 大学生のための情報検索術	東北大学附属図書館
東北大学生のための情報探索の基礎知識 2008	東北大学附属図書館
富山短期大学《情報検索演習》オンライン・ドキュメント	吉田恵吉氏
^は パスファインダーバンク	私立大学図書館協会東地区部会企画広報研究分科会
平成18年身体障害児・者実態調査結果	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課
平成22年国勢調査による基準人口	総務省統計局
^ま みんなのアクセシビリティ評価ツール: miChecker	総務省
みんなの公共サイト運用モデル	総務省情報流通行政局情報通信利用促進課
みんなの手話	NHK福祉ポータル内
^ら レファレンス協同データベース事業 データ作成・公開に関するガイドライン	国立国会図書館